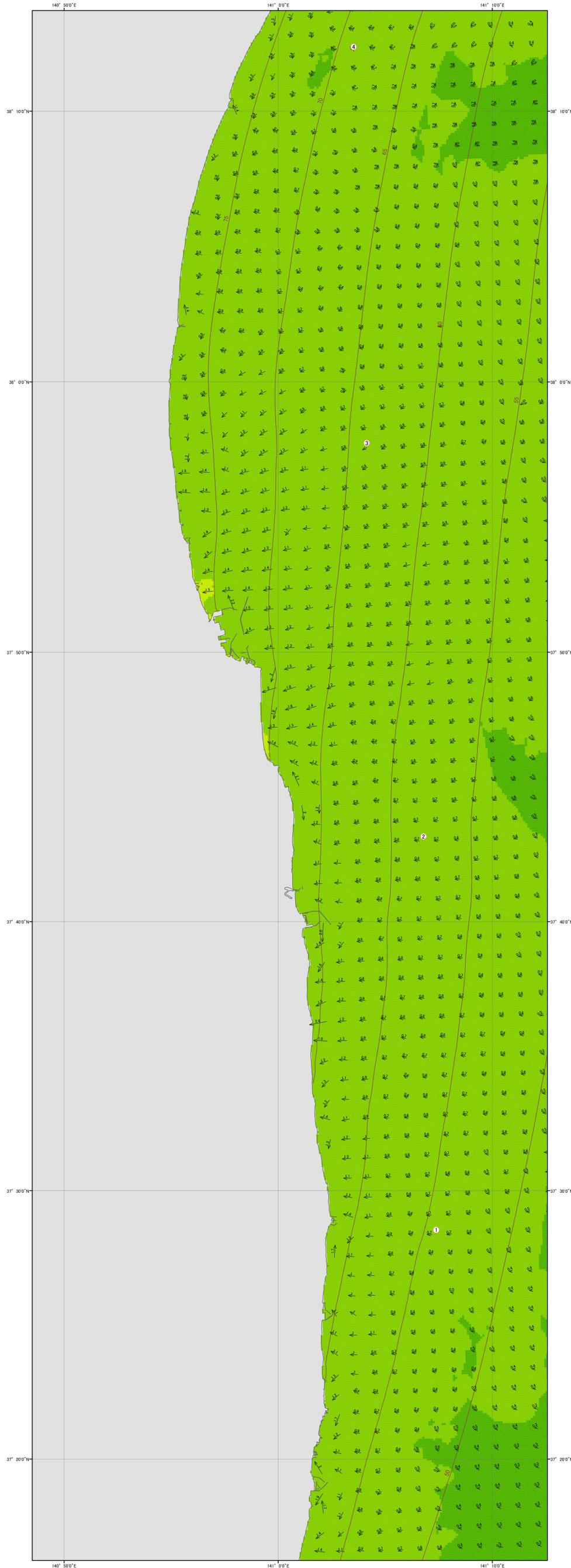


計算条件: 最高水面 (零位)
隆起量: 平均 -0.01m
Zo: 0.88m
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系: マルカトル図法
測地系: 世界測地系 (WGS84)

凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇

2m~

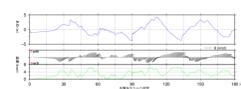
0.5~2m

0.5未満

○ 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を時間の経時変化図で示す。)

○ 水位、流向・流速経時変化図



進入時最大流 (knot)

3 knot

2 knot

1 knot

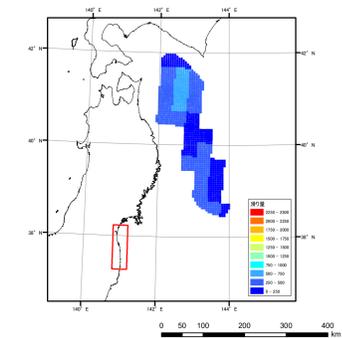
○ 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を表示している。

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断面モデル



三陸沖北部地震

モーメントマグニチュード Mw 8.4

本断面モデルは、中央防災会議「日本海溝・千島海溝用辺型海溝地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関: 海上保安庁
防災情報提供年度: 平成29年12月 (初版)
地図データ作成年度: 平成29年1月 (初版)